

# 病虫害発生予察情報

## 7 月月報

平成 24 年 8 月 20 日  
東京都病虫害防除所

### 1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2012 年 7 月	気 温 ( )						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	28.4	0.3	20.2	0.0	23.5	-0.2	39.0	67	37.5	99
中旬	31.4	1.8	23.3	1.7	27.0	1.9	108.0	234	59.4	149
下旬	31.5	0.4	23.0	0.3	26.7	0.5	2.0	3	73.3	117
平均	30.4	0.8	22.2	0.7	25.8	0.8				
合計							149.0	92	170.2	119

観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

平年差（比）：平年値（1981～2010 年の平均値）からの差（比）

#### < 天候概況 >（千代田区大手町）

気 温：上・下旬は平年並、中旬は高かった。

降 水 量：上・中旬は多く、下旬は少なかった。

日照時間：上・中旬は多く、下旬は平年並だった。

上旬：4 日と 9 日から 10 日にかけては高気圧に覆われておおむね晴れたが、その他の日は梅雨前線や上空の寒気の影響で曇りや雨となった。

中旬：前半は本州付近に停滞した梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多く、14 日は暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、未明から明け方に雷を伴った大雨となった。後半は太平洋高気圧が本州付近へ張り出したため、晴れの日が多くなった。20 日はオホーツク高気圧の影響を受けて北東から寒気が流入したため、気温がかなり低く、曇りや雨となった。なお、関東甲信地方は 7 月 17 日ごろに梅雨明けしたと見られる。

下旬：21 日から 22 日にかけてオホーツク海高気圧からの冷たく湿った気流の影響で曇りや雨となり、気温はかなり低くなった。期間の中頃からは太平洋高気圧に覆われたため、晴れて気温が上がり、26 日から 28 日にかけては気温がかなり高くなった。

### 2 作物生育概況

#### ( 1 ) イネ

田植え後、生育はほぼ平年並であった。

#### ( 2 ) 野菜類

果菜類：露地の果菜類はおおむね順調であるが、収穫期後半に入っており、キュウリでは平年より早めに収穫が終了したところがあった。ナスは台風や乾燥の影響で、生育がやや遅れていた。スイートコーンは台風の影響で倒伏したが、品質への影響は倒

伏時のステージによって異なった。エダマメではカメムシ等の被害がみられたが、生育はおおむね順調であった。

葉根菜類：コマツナ、ホウレンソウの生育はおおむね順調であった。キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー等の育苗はおおむね順調であった。ニンジン は 7 月中旬に播種したものは順調に発芽したが、下旬播種については、乾燥の影響で一部で発芽不良がみられたり、播種ができない状況にあった。

いも類：サトイモの生育はおおむね順調であった。

### ( 3 ) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおり。

幸水：例年よりも 3 ～ 5 日程度肥大が遅れている。

### ( 4 ) 茶樹

2 番茶は、収穫する生産者が例年より少なかったが、面積当たりの収穫量は平年並であった。その他の生育状況はほぼ順調であった。

## 3 病虫害の発生概況

### ( 1 ) イネの病虫害

いもち病（平野部）	< 少 >	発生は少なかった。
いもち病（山間部）	< 少 >	発生は少なかった。
紋枯病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< やや多 >	発生はやや多かった。
セジロウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

### ( 2 ) 果樹の病虫害

#### ナシ

黒星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

#### 果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 多 >	フェロモントラップと予察灯の誘殺数は多かった。
クサギカメムシ	< やや多 >	予察灯の誘殺数はやや多かった。

### ( 3 ) 茶樹の病虫害

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 多 >	発生は多かった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノホソガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

## ( 4 ) 野菜の病虫害

## トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生は一部の圃場で多かった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。

## キュウリ

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
斑点細菌病	< 少 >	発生は少なかった。

## ナス

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
半身萎凋病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

## エダマメ

ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< 多 >	発生は多かった。
ダイズサヤタマバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ダイズサヤムシガ	< 少 >	発生は少なかった。

## コマツナ

白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キスジノミハムシ	< やや多 >	発生は一部の圃場で多かった。

## ネギ

黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。

## ( 5 ) 花きの病虫害

## シクラメン

チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。

## 花き共通の病虫害

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

## ( 6 ) 植木の病害虫

街路樹など

チャドクガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
トチノキヒメヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
プラタナスグンバイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## ( 7 ) 島しょの病害虫

大 島：アシタバで、ウスカワマイマイ幼貝が収穫葉に付着する被害が目立った。

新 島：アシタバでさび病、うどんこ病、葉枯病、ハダニ類、アオバハゴロモ及びアブラムシ類、アブラナ科野菜でコナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、キスジノミハムシ及びアブラムシ類、レザーファンでアザミウマ類、ルスカスでアブラムシ類、ハダニ類及びカイガラムシ類の発生が多かった。

神津島：アシタバでさび病、うどんこ病、葉枯病及びアブラムシ類、アブラナ科野菜でコナガ、アオムシ、キスジノミハムシ及びアブラムシ類、レザーファンでチャノホコリダニ及びアザミウマ類の発生が多かった。

小笠原：父島扇浦北部の圃場で、キュウリべと病が初確認された。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

## 4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	7月5日	8月15日	0	0
大田市場	7月5日	8月15日	0	0
板橋市場	7月5日	8月15日	0	0
淀橋市場	7月5日	8月15日	0	0
北足立青果市場	7月5日	8月15日	0	0
昭島市場	7月3日	8月13日	0	0
八王子北野市場	7月3日	8月13日	0	0
多摩ニュータウン市場	7月3日	8月13日	0	0
国立市場	7月3日	8月13日	0	0
東久留米市場	7月3日	8月13日	0	0

### 病害虫防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法  
などをお知らせしています。

なお、テレフォンサービスは平成 24 年 3 月で終了しました。4 月以降、本サービスの情報については防除所のホームページに「今月の防除のポイント」として掲載しています。